



地域とのつながいを生かして7

11月14日（金）に2年生が町探検を行いました。生活科における町探検の目的は、「地域との関わりを理解すること」「地域に親しみや愛着をもつこと」だと考えます。身近な潮見地区で、暮らしの仕組みや社会とのつながりに気付いてほしいと思います。

町探検では、子どもたちが地域の施設や店舗を訪れ、働く人の話を聞いたり、質問をしたりしました。この体験を通して、普段何気なく通り過ぎたり、利用したりしている場所で、たくさんの人が努力していることが分かりました。一般的なことは、タブレット端末で検索すれば分かるかもしれませんが、しかし、実際に訪問して見聞きすることで、インターネットや本などでは得られない「生きた知識」を身に付けることができたのではないかと思います。

さらに、町探検では、子どもたちの主体性も育つと思います。事前に「どんなことを知りたいか」を考え、質問を準備し、実際に自分の言葉で尋ねることで、コミュニケーション力や表現力も高まります。地域の方と直接関わることで、人と人とのつながりや、地域の温かさを感じることもできます。こうした経験は、子どもたちが「自分も地域の一員である」という意識をもち、将来の社会参加につながる重要な基盤となることでしょう。

見学したことだけが大事なのではなく、むしろ、それらをまとめて伝えることがより重要だと思います。子どもたちは、グループで相談しながら調べたことを新聞や冊子などにまとめています。伝えたいことがたくさんあるので、取捨選択をしながら整理する力もつけています。町探検は、単なる見学ではなく、子どもたちが地域を知り、考え、関わることで、生活科の目標である「身近な生活や社会への理解と関心」を育む学習だと思います。今回の活動を通して、子どもたちが地域に親しみや感謝の気持ちをもつことを願っています。

うつぼ屋本店様、愛媛自動車学校様、Cut Hall ジュネス様、鴨川中学校様、志摩動物病院様、大五木材様、升田ボクシングジム様、急な予定変更にもご対応いただきありがとうございました。また、子どもたちに同行してインタビューの補助をしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

